

2022年3月期
決算説明会

2022年5月24日
株式会社ユタカ技研

Ⅰ．2022年3月期 決算概況

Ⅱ．2023年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2022年3月期

決算概況

22年３月期連結決算概況

（単位：億円）

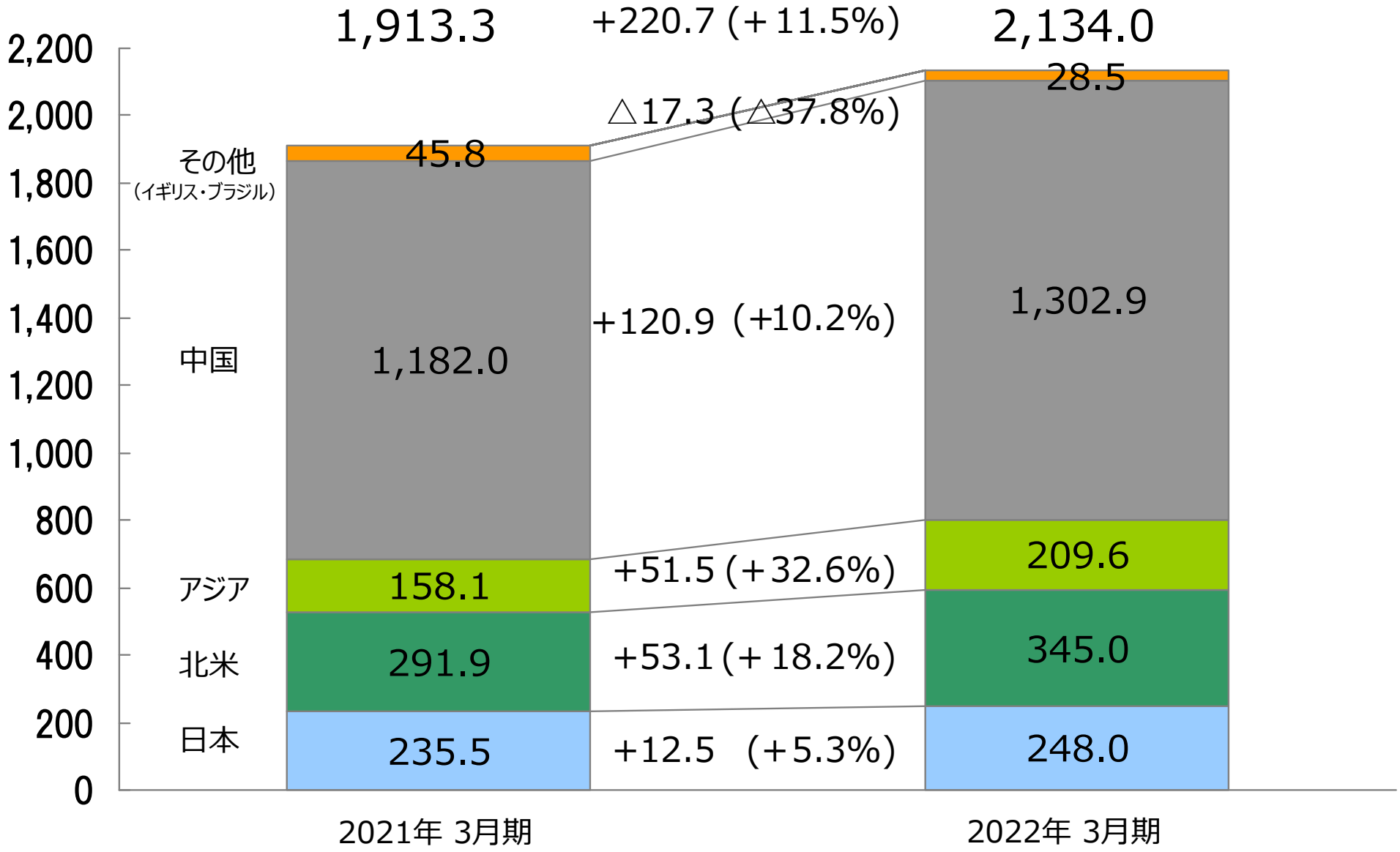
	2021年 3月期	2022年 3月期	増　減
売　上　収　益	1,913.3	2,134.0	11.5%
営　業　利　益	36.4	88.5	143.1%
税　引　前　利　益	38.4	113.7	196.2%
当　期　利　益 （　△　損　失　）	△2.0	68.8	—
親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)	△13.3	44.7	—
基本的１株当たり当期利益(△損失)	△90.07円	301.35円	391.42円
１株当たり配当金	36.00円 ＊中間 0円，期末 36円	76.00円 ＊中間 36円，期末 40円	40.00 円
	($1=¥106)	($1=¥112)	

新型コロナウイルス感染症からの回復や円安効果に加えて
単独の固定資産減損損失がなくなったことにより増益

22年３月期連結決算概況 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）

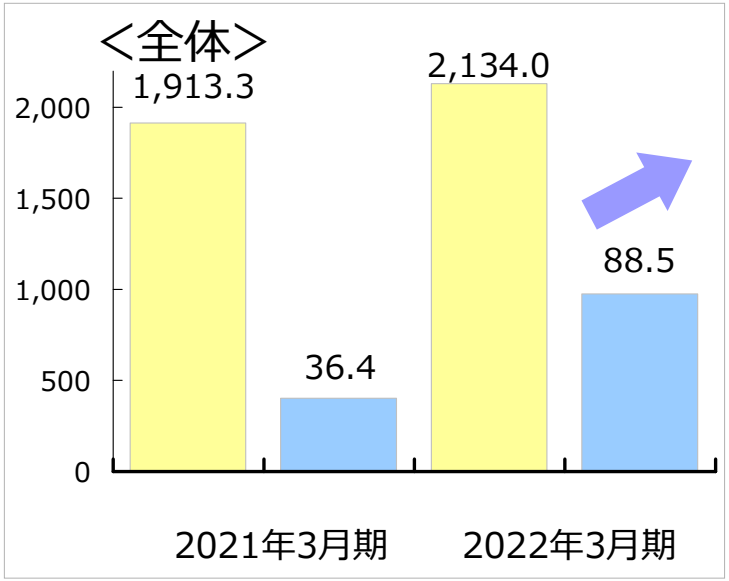


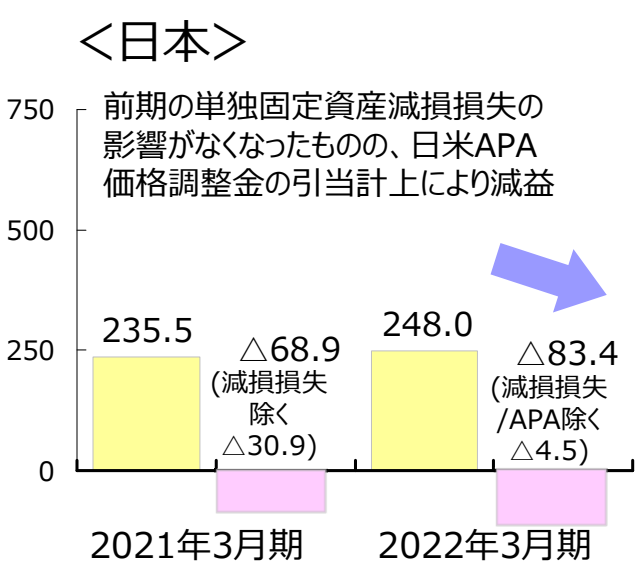
日本･北米･中国･アジアにおける顧客からの受注増により、全体で増収

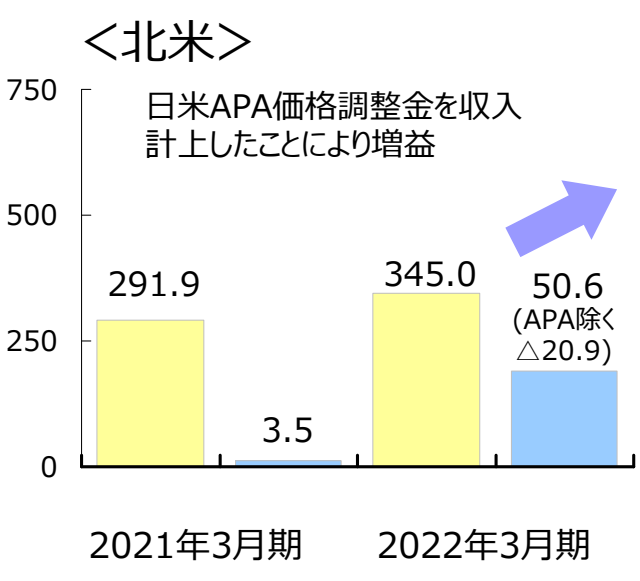
22年３月期連結決算概況 地域別営業利益

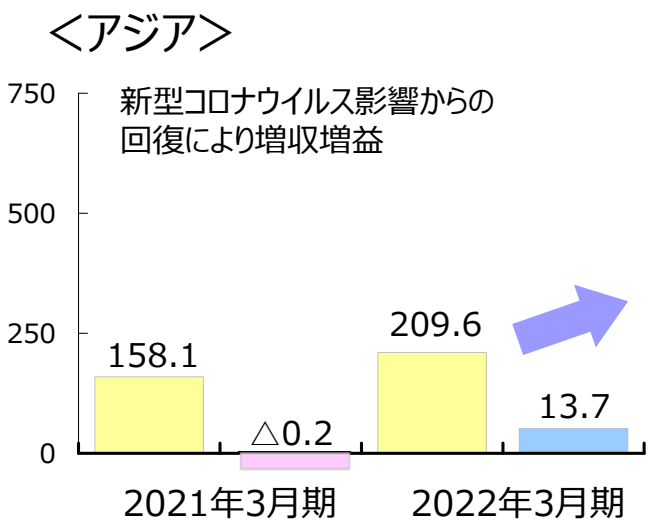
（単位：億円）

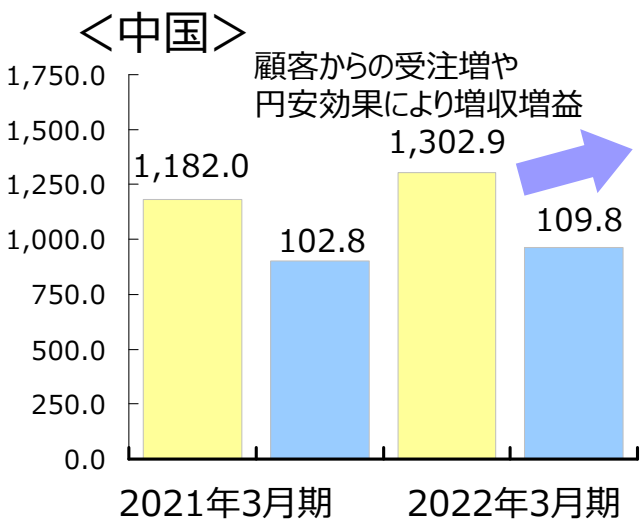
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

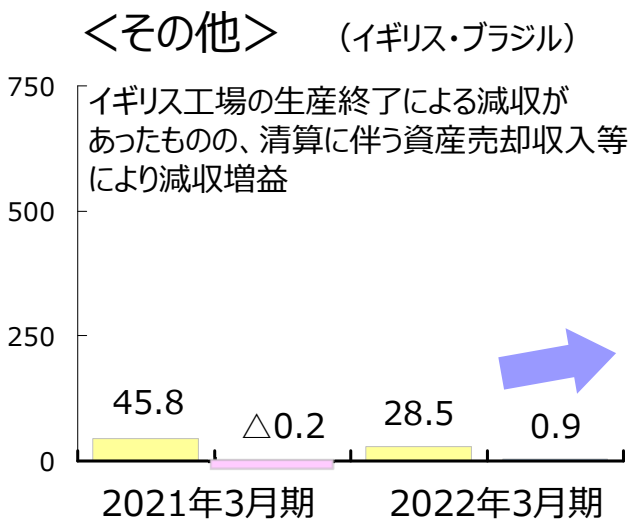








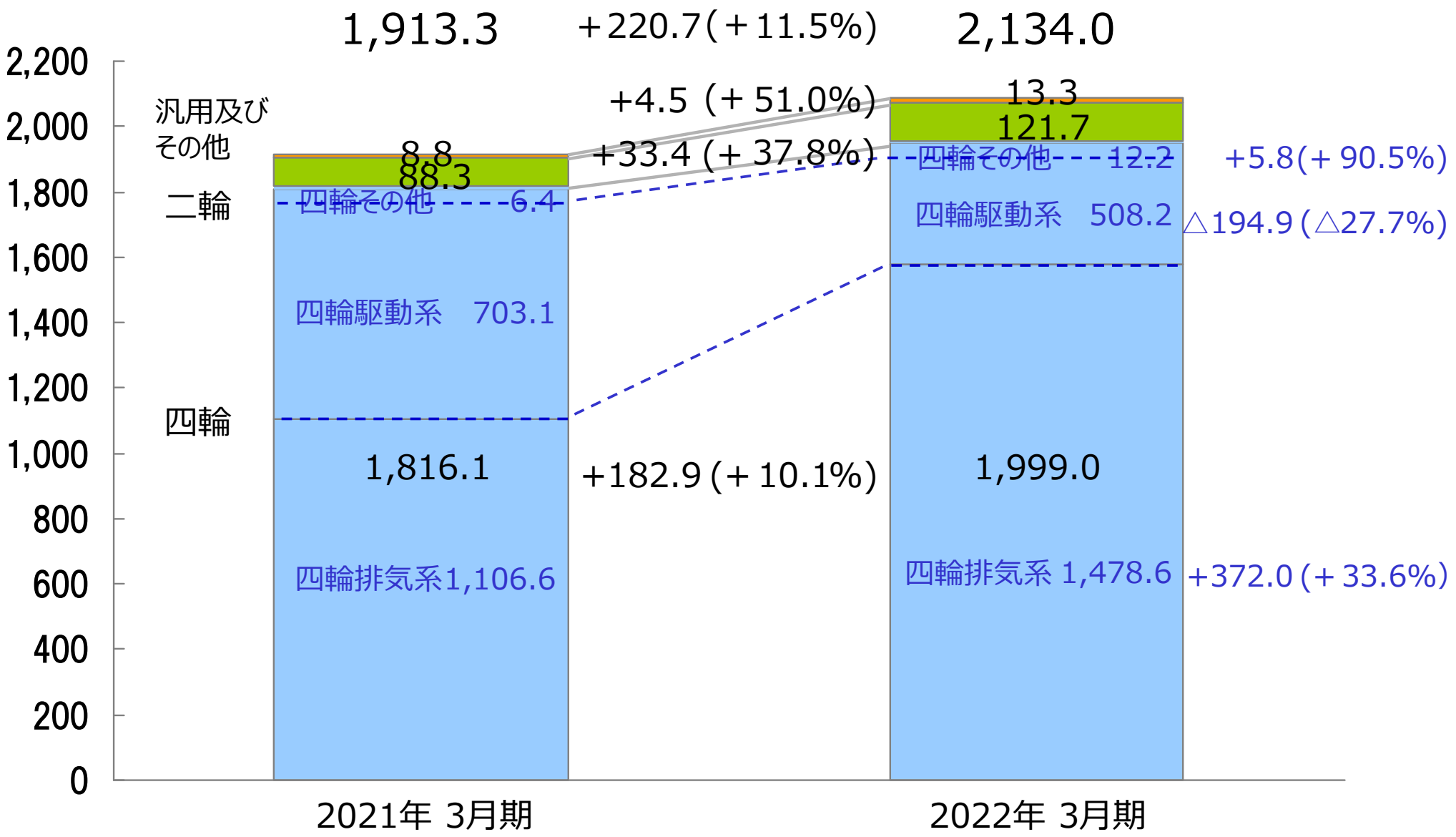




新型コロナウイルス感染症からの回復や円安効果等により増益

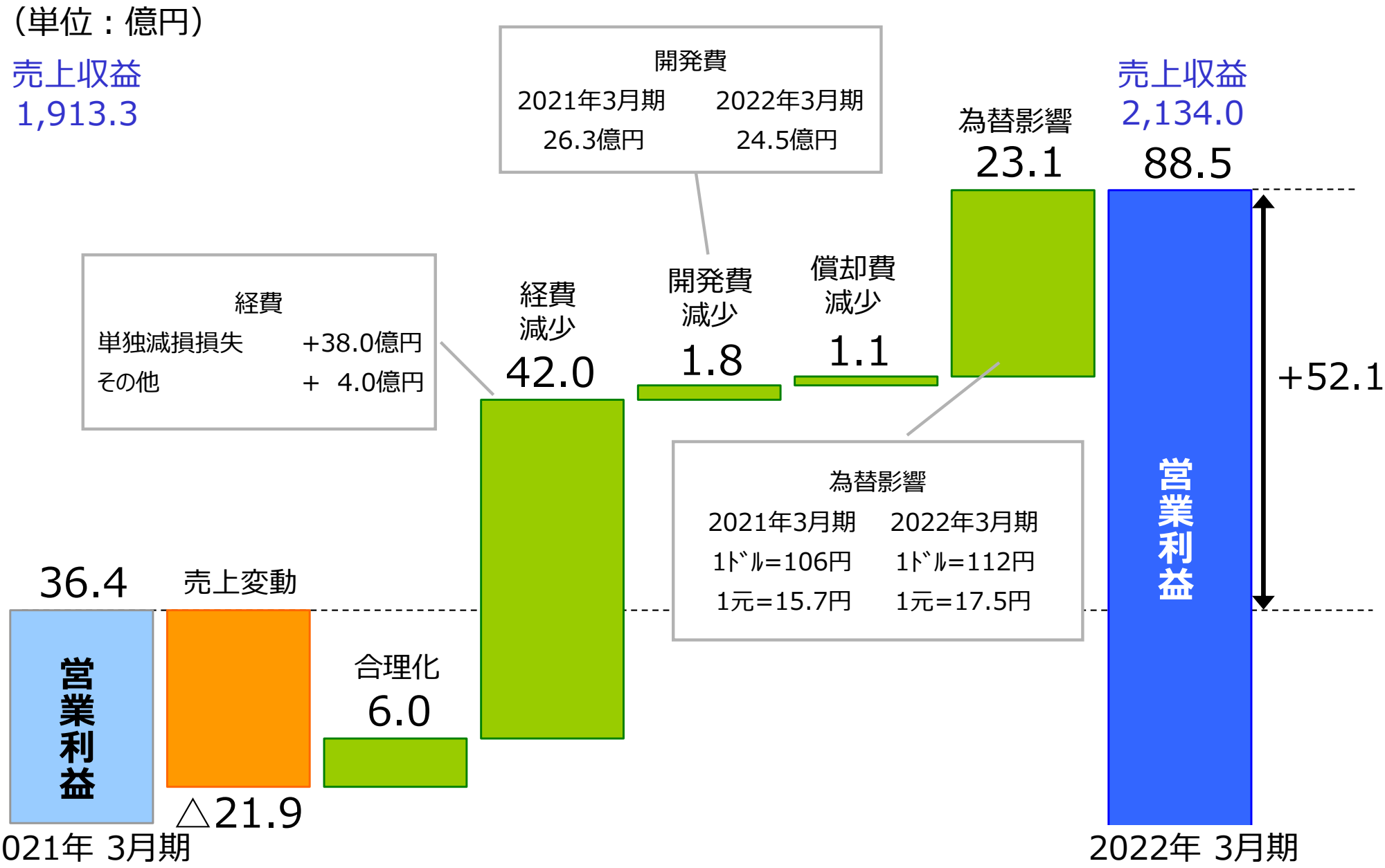
22年３月期連結決算概況 製品別売上収益

（単位：億円）



主に自動車部品四輪(排気系)の受注増により増収

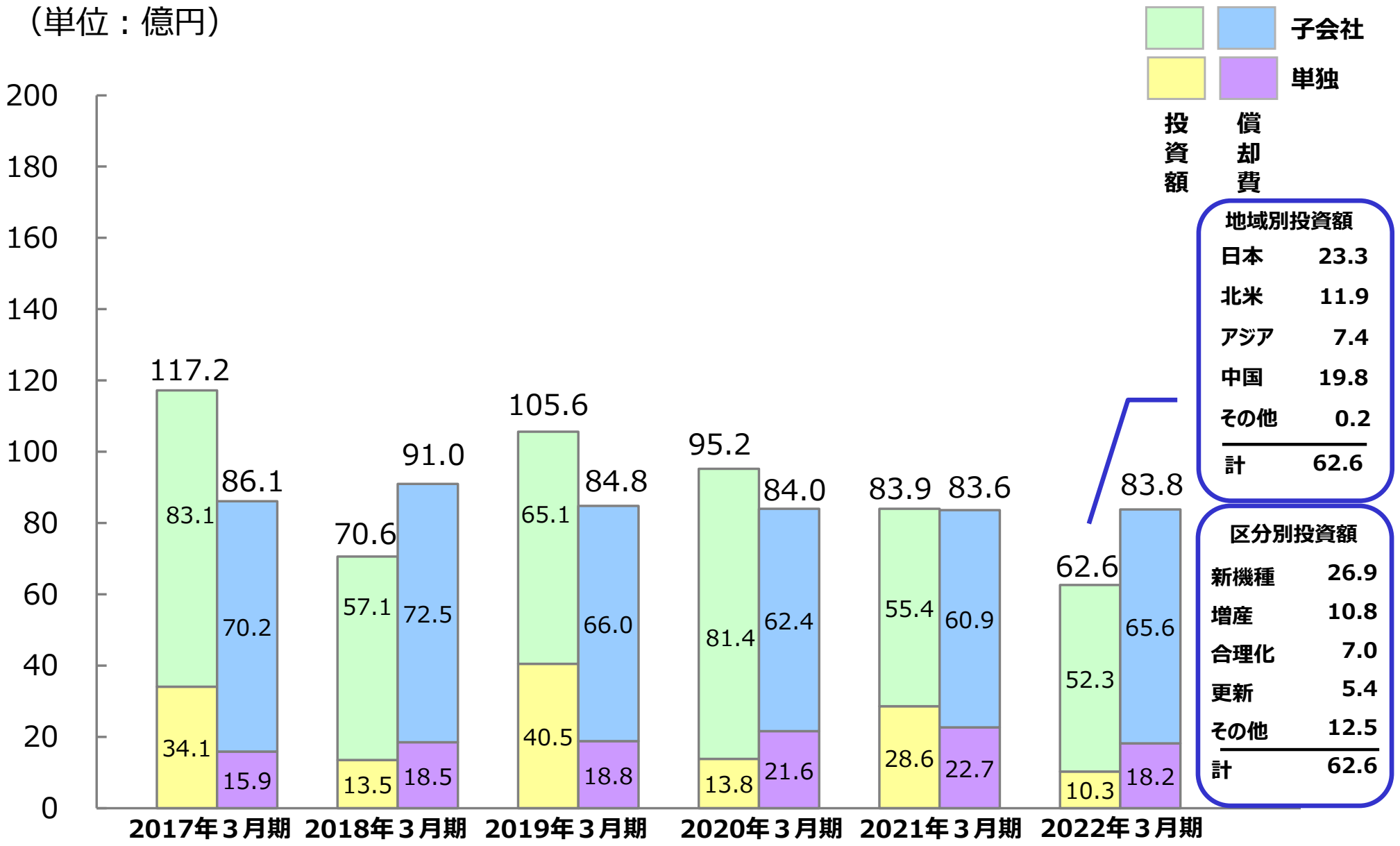
22年３月期連結決算概況 営業利益 増減要因



半導体不足による影響はあったものの、単独の固定資産減損損失が
なくなったことに加えて新型コロナウイルス影響からの回復や円安効果により増益

22年３月期連結決算概況 設備投資額の推移

（単位：億円）



地域別投資額	
日本	23.3
北米	11.9
アジア	7.4
中国	19.8
その他	0.2
計	62.6

区分別投資額	
新機種	26.9
増産	10.8
合理化	7.0
更新	5.4
その他	12.5
計	62.6

単独において増産投資が減少、
子会社において新機種投資、品質改善投資が減少

2023年3月期
見通し

23年３月期連結見通し

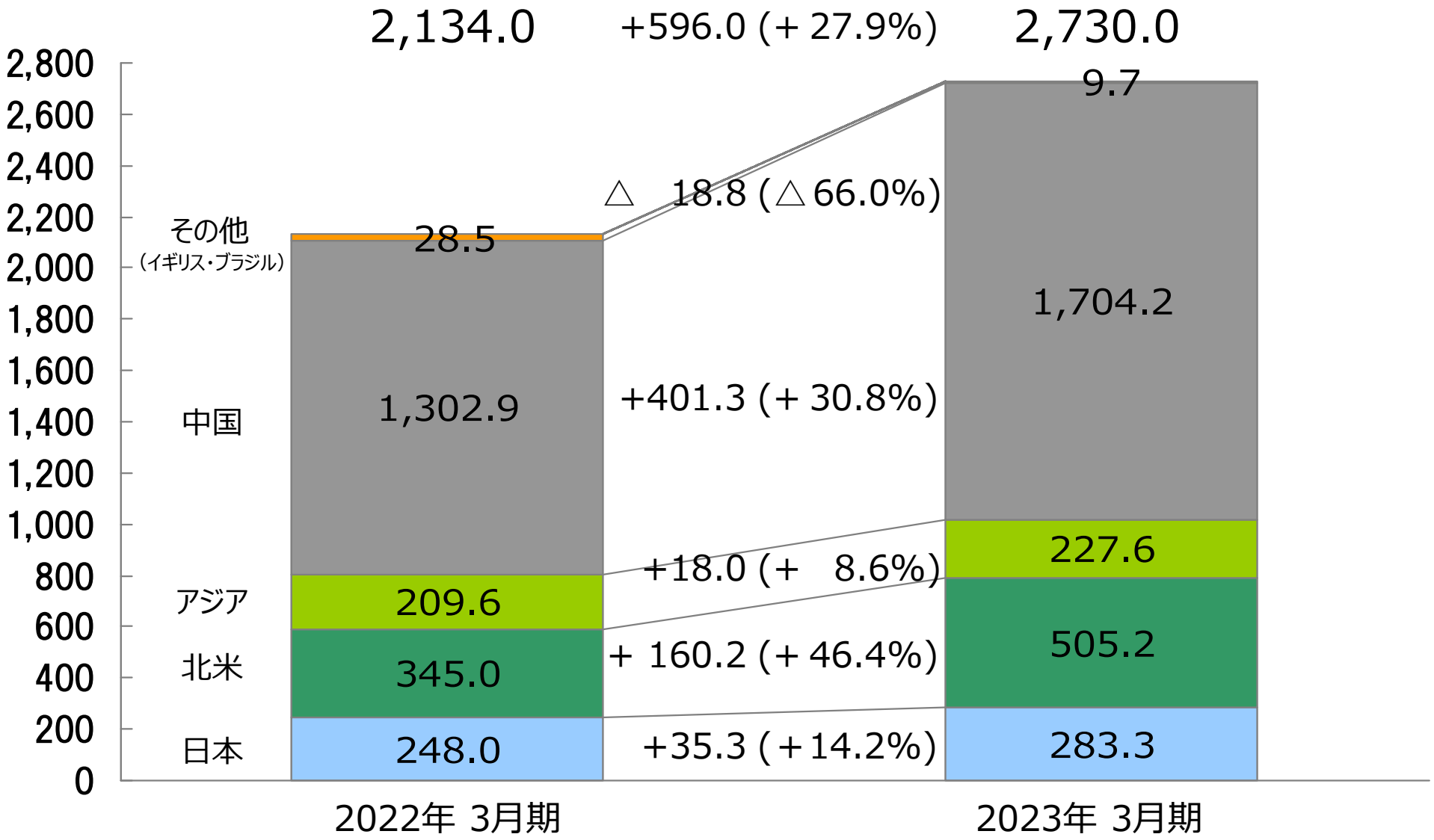
（単位：億円）

	2022年 3月期	2023年 3月期	増　減
売上収益	2,134.0	2,730.0	27.9%
営業利益	88.5	99.0	11.8%
税引前利益	113.7	96.0	△15.5%
当期利益	68.8	65.0	△5.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	44.7	52.0	16.4%
基本的１株当たり当期利益	301.35円	350.92円	49.57円
１株当たり配当金	76.00円 ＊中間 36円，期末 40円	88.00円 ＊中間 44円，期末 44円	12.00円
	($1=¥112)	($1=¥120)	

半導体供給不足影響からの回復による客先受注増を見込み、増収増益となる見通し

23年３月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）　　（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）

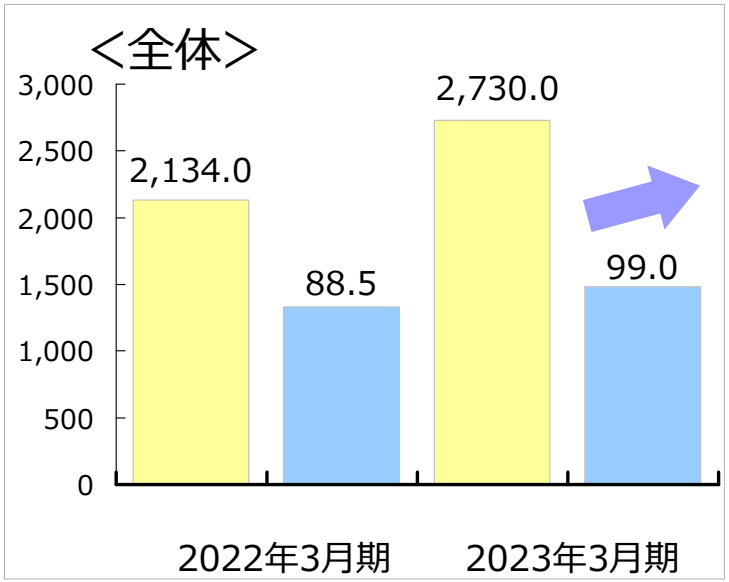


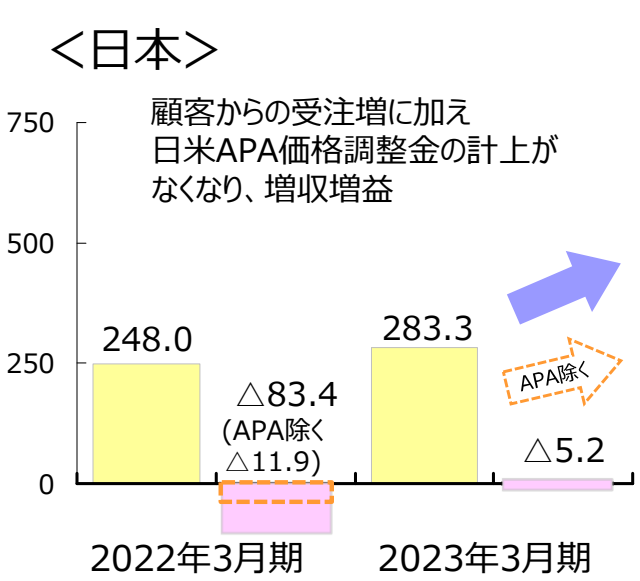
イギリスの工場閉鎖に伴いその他地域で減収となるものの、日本・北米・アジア・中国地域では半導体供給不足影響からの持ち直しを見込み、増収となる見通し

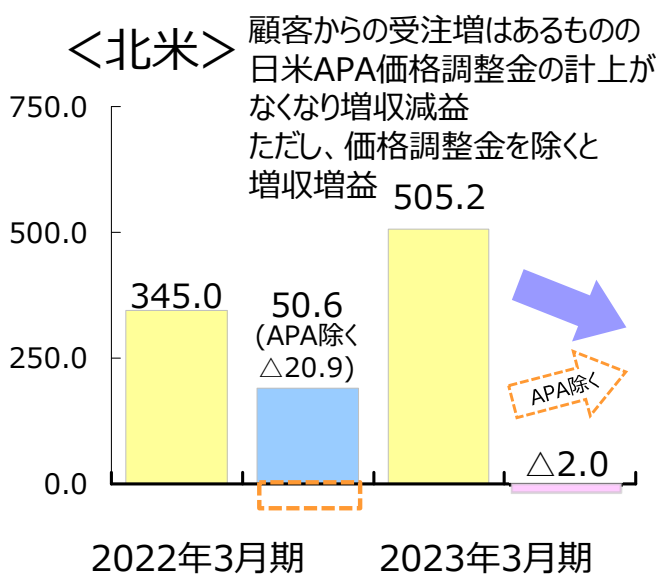
23年３月期連結見通し 地域別営業利益

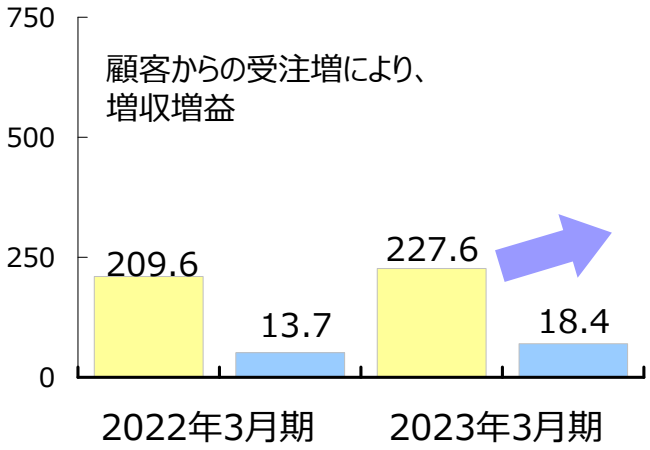
（単位：億円）

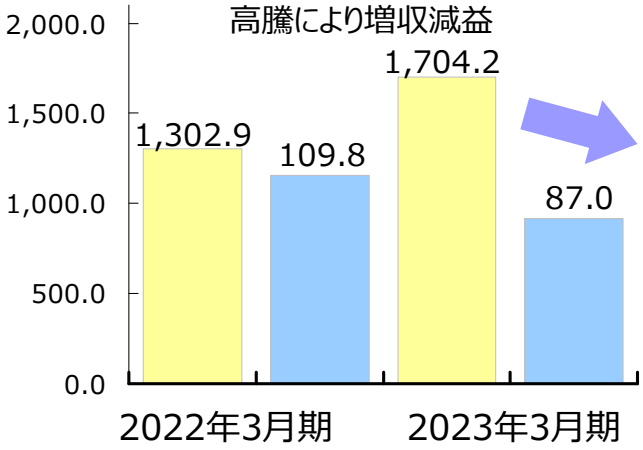
売上収益 → 利益増減
営業利益 営業損失

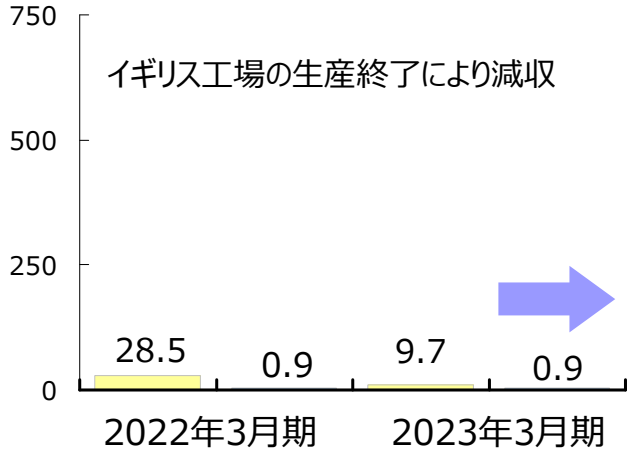








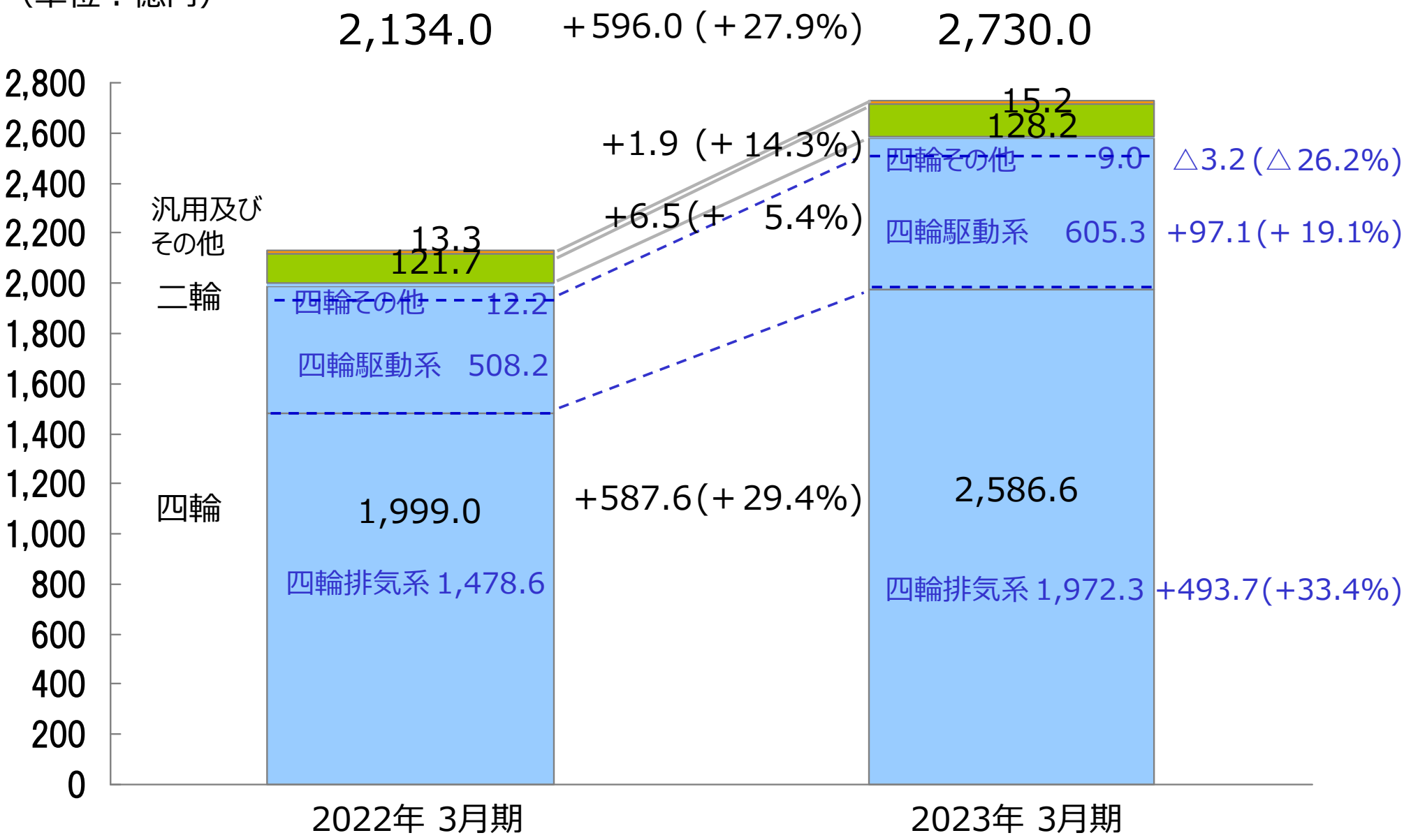




北米・中国地域で減益となるものの、
日本・アジア・その他地域では増益となり連結全体では増益見通し

23年３月期連結見通し 製品別売上収益

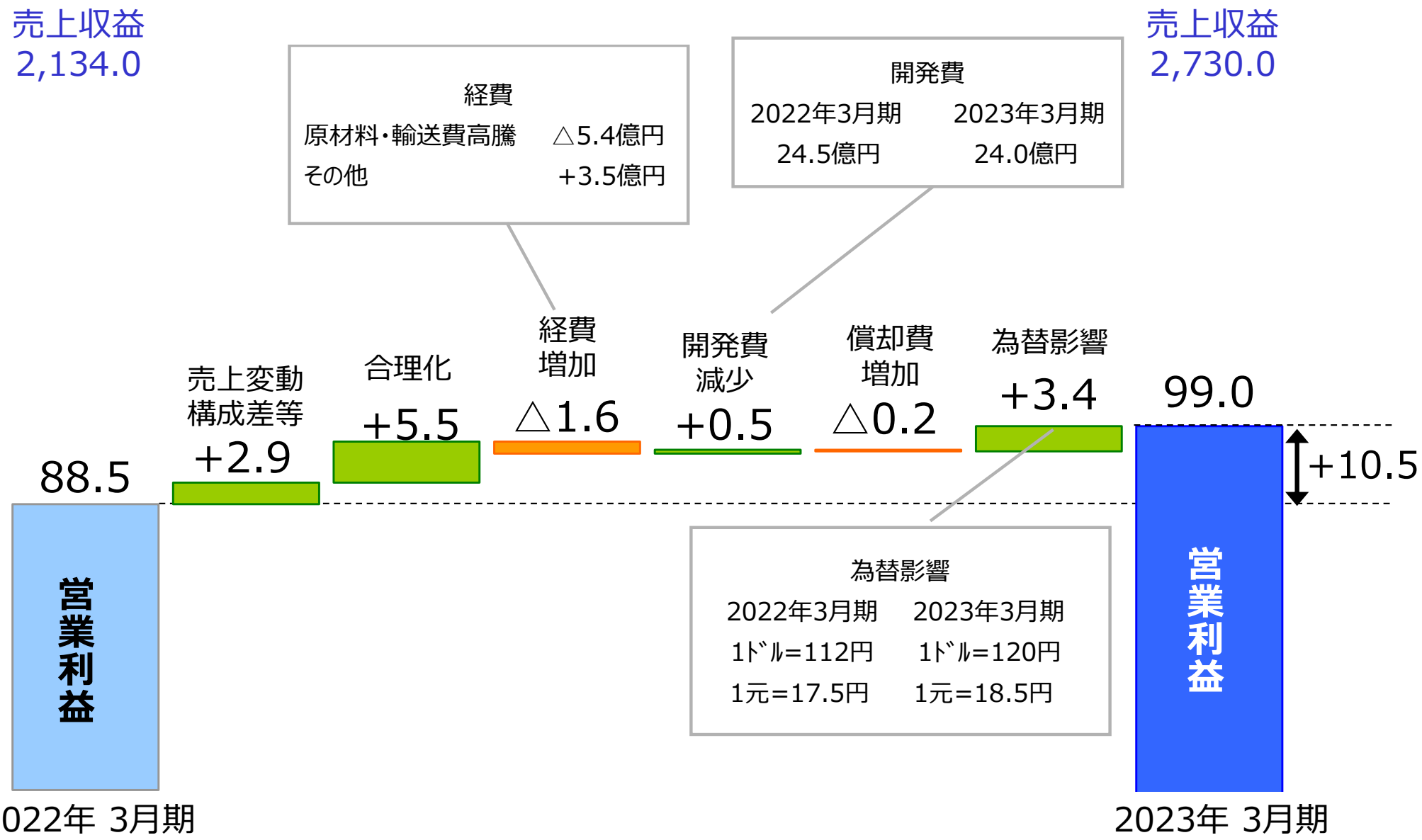
（単位：億円）



四輪排気系･四輪駆動系で増収となり、全体で前期比増収見通し

23年３月期連結見通し 営業利益 増減要因

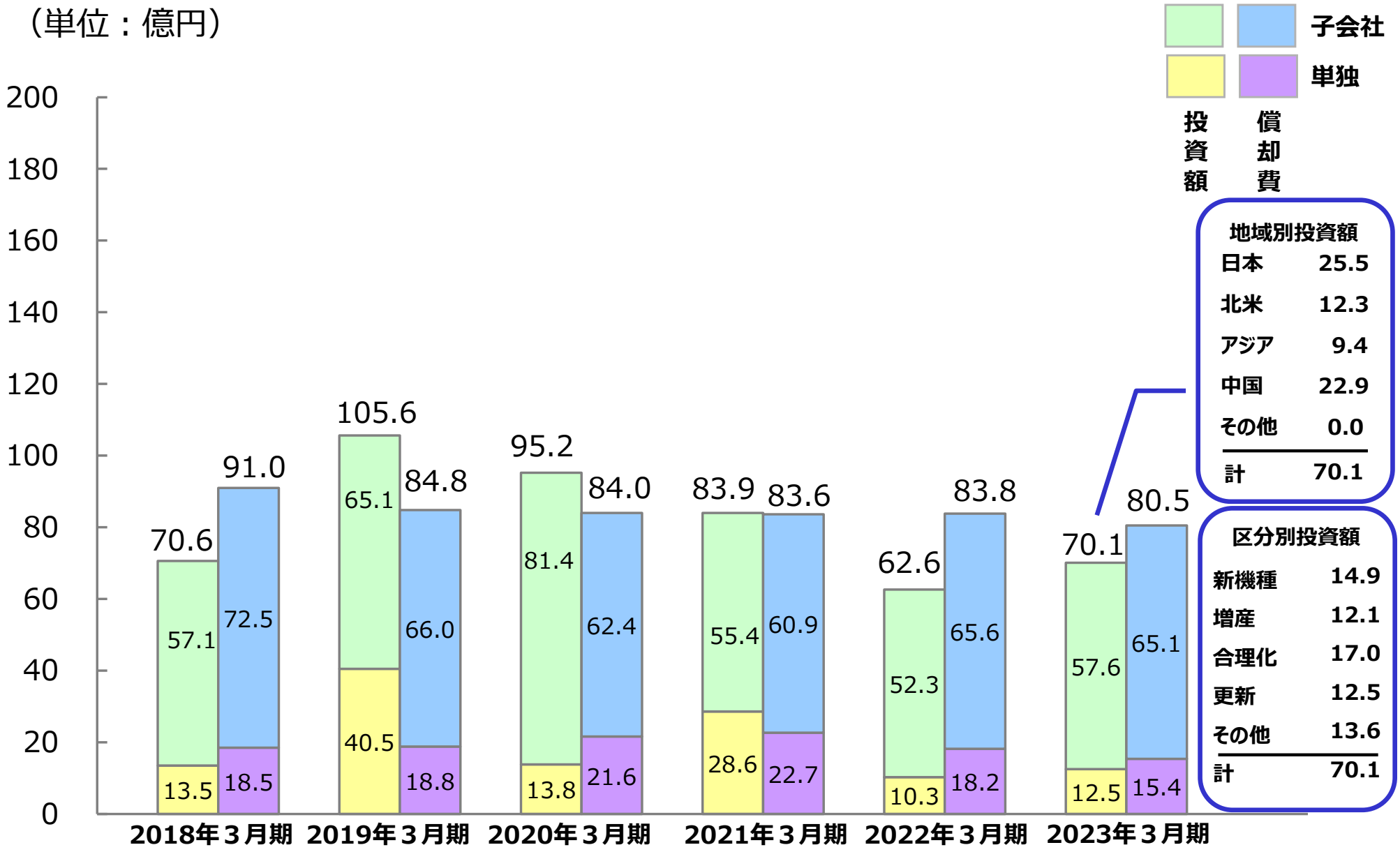
（単位：億円）



顧客からの受注増加に加え、合理化･円安効果により増益見通し

23年３月期連結見通し 設備投資額の推移

（単位：億円）

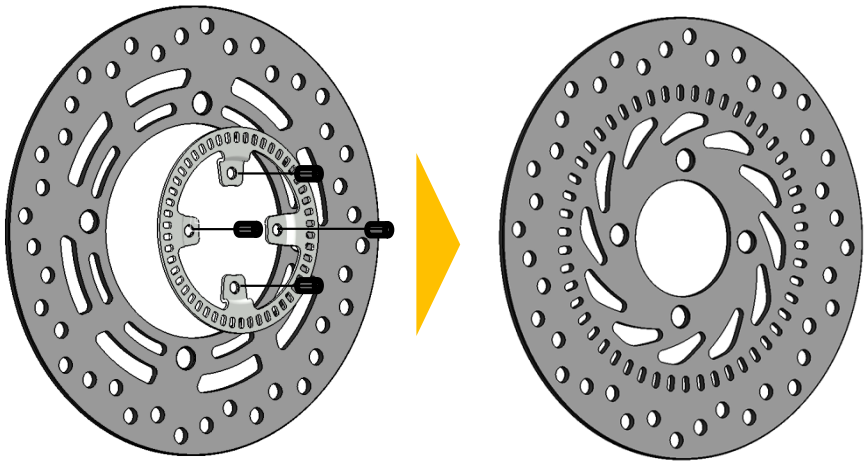


単独は更新投資が増加、子会社は合理化投資、更新投資が増加
全体として償却の範囲内

事業状況

プレス加工によるABSパルサーリング一体ディスクの生産をスタート

ABSパルサーリング一体ディスク



従来仕様
パルサーリング別体構造

新仕様
パルサーリング一体構造



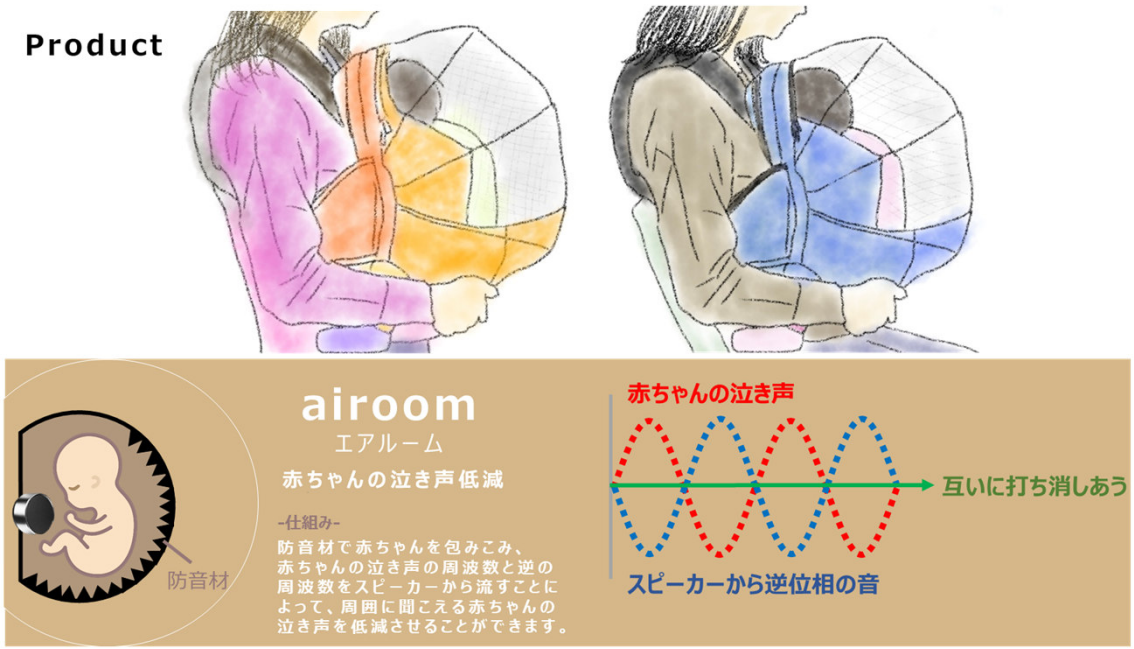
採用車種：Honda　VARIO160 ABS
(インドネシア発売)

- ２部品を１部品にしたことにより 材料使用量・廃棄量を削減
- ABSセンシング機能に必要なパルサー孔精度をプレス加工で実現
- 車両の組立作業効率UPにも貢献

「浜松イノベーションチャレンジ2021」へ初参画

参加全6チーム中「最優秀賞」を獲得

将来に向け、新しいYutakaを創造できる人材の育成と新事業創出のための施策として初参画し、
自動車のエンジン音を低減させる部品技術やノウハウを強みに、防音材で赤ちゃんを包み込み、赤ちゃんの泣き声の周波と逆の周波の音を流すことによって、周りに聞こえる泣き声を低減させた**「赤ちゃんの泣き声で困っている親を助ける抱っこひも」**を提案したYutakaチームが「最優秀賞」を獲得、このイベントの後援でもある浜松市の鈴木康友市長より表彰を受けました。




浜松・新事業チャレンジ最終審査

強みの技術で独創的提案

最優秀にユタカ技研

中日新聞 ：2021年12月18日朝刊 掲載

「浜松イノベーションチャレンジ2021」は、学びと実践を通した新規事業アイデア創発のプログラム。

参加企業

浜松市（後援）


YUTAKA
Clean for the Future